食育つうしん



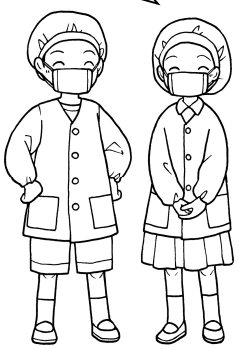
1月号

1月25日(月)～29日(金)

茨木市学校給食週間



学校給食週間を知っていますか?



【給食について考え、日ごろから給食に携わっている人々に感謝をする1週間です】

・昭和20年(1945年)日本は戦争が終わったばかりで、食べ物が不足していました。そのため栄養失調の子ども達がたくさんいました。その時代の小学校6年生は、現在の4年生ぐらいの体の大きさだったそうです。

日本のその様子を見て、外国から、粉ミルクや缶詰、小麦粉の援助物資が届き、昭和21年12月24日にその贈呈式が行われました。この時期は、学校が休みのところが多いので、1ヶ月後の1月24日を記念日として『給食週間』としています。

学校給食のはじまり



山形県鶴岡市の忠愛小学校で、お昼を持ってこられない子ども達のために簡単な食事をお昼ごはんとして出したことが、学校給食の始まりとされています。明治22年(1899年)のことなので今から120年位前のことですね。





茨木市の学校給食週間でのとりくみなど

給食週間の間は、みなさんが楽しみにしている献立がたくさん登場します。

『みんなで選ぼう大好きメニュー』は、茨木市の全ての小学生が投票して一番票が多かった献立で、25日(月)『揚げぎょうざ』・26日(火)『マーボー豆腐』・27日(水)『米粉のみそらぁめん』を食べます。28日(木)は学校で『フルーツミックス』か『マスカットゼリーミックス』の選んだ方を29日(金)は学校で『ビビンバ』か『焼き肉』の選んだ方を食べます。選んだのは、2学期でしたが、【あなた】の選んだ献立は、入っていましたか?

その他にも学校ごとに給食に携わる人々に感謝をしたり、調理員さんにお礼のお手紙を書いたり、給食委員会の発表があったりします。何気なく食べている給食について、みなさんも考えてみてくださいね。

